# 国内初の地元資本ウインドファーム

## 吉田町に風力発電設備

## 11月に着工、17年2月完成へ

事業概要を説明する須賀(右)、佐多両部長
＝鹿児島市の南九州クリーンエネルギー㈱本社で

わが国初の地元資本によるウインドファーム事業を行う南九州クリーンエネルギー㈱（島津公保社長、資本金8000万円）がこのほど設立され、その風力発電設備の概要が11日発表された。建設地は鹿児島郡吉田町牟礼ケ岡で、出力1300㎾規模を8基設置、計1万400㎾を出力する予定。11月にも土木基礎工事に着手、16年夏に発電施設本体の据え付けに入り、17年2月の完成を目指す。総工費約21億円。今のところ、施工業者は未決定。

同日行われた記者会見には、同社業務統括本部の須賀満信業務部長と佐多武人建設管理部長が出席。会社側の説明によると、牟礼ケ岡ウインドファーム事業（仮称）である風力発電設備の設置場所は吉田町宮之浦の牟礼ケ岡で、標高500－550㍍。デンマーク製のNORDEXという機種で、現地北側から南へ1号機から8号機まで同型を設置する。ローター直径、タワー高各60㍍という大型のもので、1基当たりの定格出力1300㎾、8基の総出力1万400㎾を予定している。

同社の須賀業務部長は「当地は出資者のひとつ、島津興業の所有林であり、2年前から現地風況調査等を実施、九州電力の系統連係にも近いという好条件もあって設置を決めた」と語った。完成すれば、年間約6500世帯分の電力を供給でき、2億5000万円を売り上げを見込んでいる。先ごろ、九電の大規模風力発電の入札で島津興業が落札、17年から15年間の売電契約を結んだ。

同社の株主は、島津興業㈱を筆頭に、薩摩酒造㈱、NECパーソナルシステム南九州㈱のほか、㈱鹿児島銀行、石川島播磨重工業㈱が名を連ねている。

# 再生材は段ボール等に

## 古紙類を初めて出荷

スコンリサイクルセンター

廃棄物の収集と中間処理を取り扱う「森アスコン㈲リサイクルセンター」（森義久代表取締役、曽於郡輝北町）は8日、一般廃棄物や企業から出る産業廃棄物のうち古紙類の初出荷を行った。

同社では、4月から一般廃棄物や企業から出る産業廃棄物を受け入れを行い、温を収集・圧縮を同社プラントで開始してきて初出荷を迎えた。出荷先は大分で段ボールや雑誌に変わる。また建設業者が資源、循環型社会づくりを目指し事業を行うことは県内でも初めてのこと。

今後は、県内各地から受け入れを行い、温

圧縮するラージベールの機械

スコンリサイクルセンター（輝北町市成☎078）まで。0994・85・11

# リフォームスペース開設

## 増改築進出の拠点に

追田

㈱追田（追田博信社長、本社・鹿児島市）の「リフォームスペース」が9日、鹿児島本店2階にオープンした。同社ではすでに「追田リフォーム協力会」（会員30社）を立ち上げており、同スペースは顧客とを結ぶ増改築の提案・相談拠点になる。

同スペースは、売り場から気軽に立ち寄ることができるのが魅力で、親子連れの客らが家具を見たついでに早速、相談に訪れていた。約40坪のフロアには外壁材やウッドデッキ、造作キッチンなどの展示コーナーのほか、竹炭塗料「サンテク・カラー」や光触媒塗料「アークフラッシュ」、自然健康塗料「リボス」などのエコ塗料を展示。またエコ塗料を実際に塗布、仕上がり具合や効果を実感することもできる。今回はエコ材料を幅に展示提案しているが、今後は季節やテーマに合わせて自在に提案内容を変えて行く。責任者は内宮幸一郎マネージャー。窓口には勝井竜子氏ら女性アドバイザーが常駐、女性ならではの視点で増改築の提案や相談を受付ける。また当日は、協力会員の㈱木場塗装の安藤常務らが応援に駆けつけていた。

詳しくは、同社リフォームスペース（☎099・255・9500）まで。

エコの最新トレンドなども紹介されたセミナー
鹿児島市のNationalリビングプラザ鹿児島で

初日から相談者が相次いだ＝鹿児島市与次郎で

# Interior素材展

## 「エコ商材」に高い関心

インハウス久永

内装・リフォーム総合商社の㈱インハウス久永（久永祐司社長、鹿児島市）は8日、鹿児島市のNationalリビングプラザ鹿児島で「Interior素材展」を開き、改正建基法対応のエコ商材をはじめ、県外メーカーの人気商品が一同に展示された会場は、終日多くの来場者でにぎわいを見せた。

テーマは「eco」。有害化学物質への規制強化が高まる中、今回の展兼ね備えた人と地球に優しいインテリア内装素材を紹介。会場では協賛メーカー約10社の主力及び新製品が所狭しに展示販売された中、一際注目を集めた商品では、食品レベルの安全性を持ち、合成樹脂等不使用の自然健康塗料「リボス」をはじめ、木片チップを再生紙で漉いたエコロジー壁紙「オガファーザー」、〜塗る時代から貼る時代へ〜をキャッチコピーに独特の風合いを演出する壁紙

揃え、華やかさに落ち着き感も兼ね備えたトミタのF☆☆☆☆カーテンなどがあった。

また、カーテンの最新トレンドから今後の動向等におけるる特別セミナーも行われ、講師の㈱スミノエ担当デザイナー・合阪円氏は「今は『自分らしさ』『こだわり』がトレンド。健康・快適さを考慮した機能的なカーテンもあり、今後はユーザーの生活スタイルに応じたトータルコーディネイトが大切」と話し、環境対策商品では、4大生活悪臭と共にホルムアルデヒドを吸着・分解する機能強

# ビフォアーケアが大切

## 鈴木　晃司さん

千葉県建築士事務所協会長として「建築相談調査会」を説明するため、鹿児島に来ました。建築相談やクレーム情報等を一元管理し、相談者からの依頼に応じて調査するもので、国に先がけて創設。不良・欠陥住宅・マンション、耐震診断など年間100件を超える有料調査業務を行っています。

苦情、建築相談がきたら、逃げない、必ず処理する、たらい回しにしない―が原則で、クレームにきちんと対応することが消費者との信頼関係構築にもつながります。

当地・鹿児島を始め、北海道から沖縄まで数カ所で会が設立されようとしており、相互にスクラムを組んで情報を共有、アフターケアよりビフォアーケアに配慮する視点が大切ではないでしょうか。

（日事連教育・情報委員会委員長）

てぃぶれいく

お手軽で便利な購読料のお支払いは
[自動振替で]
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

大一式工事・建築一式工事
水工事・家屋曳移転工事
株式会社 大城
建設業許可(般-12)第4087号
鹿児島市宇宿町1955-1 ☎(099)275-3600(代)
鹿児島市下荒田1-18-2 ☎(099)254-3938番